

# 直近の世論調査から－2021. 10. 7(岸田内閣支持率…自民誤算の低さ・党支持率はUP)

## 1. 岸田新内閣発足…ご祝儀相場なしの低支持率！ 5社平均で52.9%。日経株価も暴落続き

### 岸田内閣支持率(5社のみ)

10月	支持	不支持
日経10.6	59	25
毎日10.6	49	40
読売10.6	56	27
朝日10.6	45	20
共同10.6	55.7	23.7
平均	52.9	27.1

① 9月3日、菅義偉首相が自民党の総裁選に立候補しない意向を表明した。これに伴い、衆院選も含めて永田町は一気に動き出した。9月17日告示・29日投開票の自民党総裁選挙を勝ち抜いた岸田文雄は10月4日、第100代内閣総理大臣に就任した。自民党筋の予測では新内閣はご

祝儀相場で一気に支持を回復し、解散総選挙を戦う態勢が整うはずだった。だが一斉に報道された岸田新内閣の支持率は「まさか岸田政権の支持率がこんなに低いとは…。世論を甘くみていた自民党の大誤算」(PRESIDENT Online)と評されるほど意外なものだった。

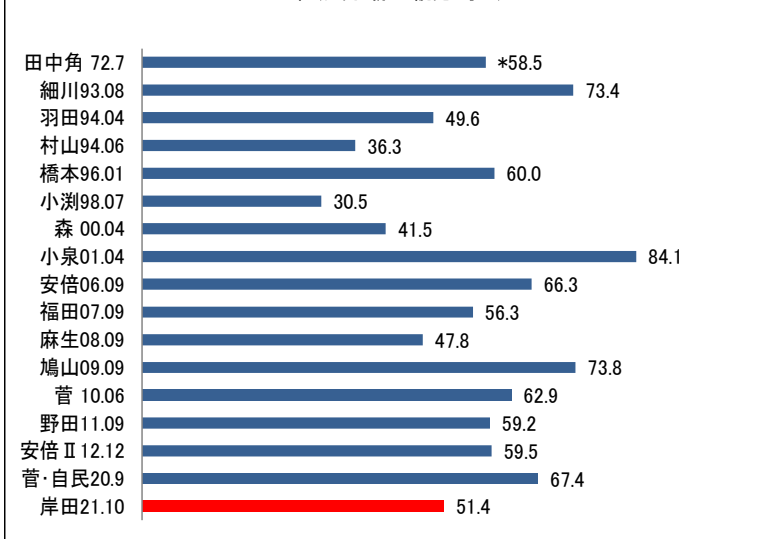
### 菅内閣支持率(発足時)

20/9月	支持	不支持
日経9.18	74	17
毎日9.18	64	27
読売9.21	74	14
朝日9.18	65	13
共同9.18	66.4	16.2
時事9.18	46.3	36.5
NHK9.23	62	13
JNN10.5	70.7	24.2
ANN9.21	62.3	16.3
平均	65.0	19.7

10月6日に報道された5社平均の内閣支持率は52.9%(不支持27.1%)で、1年前の菅内閣発

【図】歴代内閣の発足直後の支持率(4社平均)

※4社(共同・朝日・読売・毎日)



足時と比較してもおよそ15%ほど低く、「連立の時代」に入った1993年以降の歴代内閣発足時の支持率と比べても(これは共同・朝日・読売・毎日の4社平均)岸田内閣の51.4%は歴代内閣16人中11番目という低さだ。

ただし後で見ると、自民党の支持率は5社平均で43.2%と菅内閣発足時の46.4%と比べるとやや低いが、「イベント・自民党総裁選挙」で自民党支持層が再結集した傾向が見られる高さにまで回復しているようだ。

②岸田新首相は「新自由主義から転換」「新しい資本主義」を表明した。わが国では小泉政権以降、規制改革や構造改革を政策の柱とし、民主党政権

後の安倍・菅政権もこの路線を踏襲した。しかしながら世界の大勢はコロナ禍以降はとくに新自由主義を否定、あるいは転換する動きが顕著になっている。

総裁選中にはトヨタ自動車社長が「真面目に働いている国民が『今日より明日はきっと良くなる』。そう思える国にしてください。それに尽きると思っています」と注文を付けたことも話題になった。巨大企業トップからこうした発言が出ることは珍しく、裏を返せば国民不在の政治が長らく続き、コロナ禍で経済的にも精神的にも国民が疲弊していることを政府は実感すべきだ、と警鐘を鳴らしたのだろう。

世界の潮流、日本を代表する企業からの要求を踏まえれば、岸田文雄の発言はごく自然な流れとも言えるのだが、日経平均株価は岸田内閣発足と共に暴落を続けている。「海外投資家は岸田新総裁に失望…日経平均株価は年初来安値にまっしぐら」(エコノミスト)。自民党総裁選前日3万183円の日経平均は10月6日終値で2万7528円と2655円安に下落。NY株の乱高下が影響しているものの、岸田新政権の政策評価などの影響もあると言われる。

## 2. 菅内閣の総括は調査から意外な結果

③菅内閣が退陣となったことで、総括的な調査が複数実施されているが、一年間の実績を問う

**菅首相の1年間の実績は**

	評価する	評価しない
読売9.6	55	44
日経9.11	57	41
NHK9.13	55	41
毎日9.18	40	40
ANN9.20	55	45
FNN9.20	62.5	36.2
平均	54.1	41.2

**菅首相の1年間のコロナ対応は**

	評価する	評価しない
共同9.6	40.4	56.3

世論調査でも、「評価する」が 54.1 %と、「評価しない」の 41.2 %を 12.9 ポイントも上回っているように、世論の多くが肯定的に見ている。菅政権となって以降、「リーダーシップがない」、「政府のコロナ対策は中途半端で常に後手後手」、「頼みの綱はワクチン接種のみ」という状況で、それも供給不足で当初の予定よりも接種が進んでいないなど、常時批判にさらされてきた。

そうした結果が内閣支持率に直結していたはずなのだが、辞めると表明してから「評価する」と回答した世論が多いのなぜだろうか。一つ考えられるのは、この調査前後から第 5 波の感染者が減少傾向にあったということだろう。もう一つは 9 月 13 日、2 回の接種を完了した人口が 5 割超という報道がなされており、国民自身も周りをみる余裕ができたこともあり、「振り返ってみると、まあまあやってたのかも」と感じている人が多いのかもしれない。

しかしながら、菅政権はコロナ対策以外にも、公文書破棄や政治とカネなど課題が山積していたのだが、結局、これらの説明責任を何も果たさないまま、幕引きとなった。甘利新幹事長は河井夫妻への支出した 1 億 5000 万円について、「再調査はしない」と明言したが、広島県連幹部から「再調査要請」と反旗を翻される事態となっている。まずはこの点について、岸田内閣がどのように対応するのか。注視していく必要があるだろう。

**次期首相-安倍・菅路線の継承は**

	引き継ぐべき	べきでない
朝日9.14	28	58
ANN9.20	19	67
平均	23.5	62.5

**次期首相-経済成長か格差是正か**

	経済成長	格差是正む
朝日9.14	43	41

**次期首相-脱原発を進めるべきか**

	進めるべき	必要ない
朝日9.14	48	40

**次期首相-森友・加計・桜の解明は**

	進めるべき	必要ない
朝日9.14	47	45

**衆院選で党の代表が誰かを重視するか**

	重視する	重視しない
朝日9.14	65	32

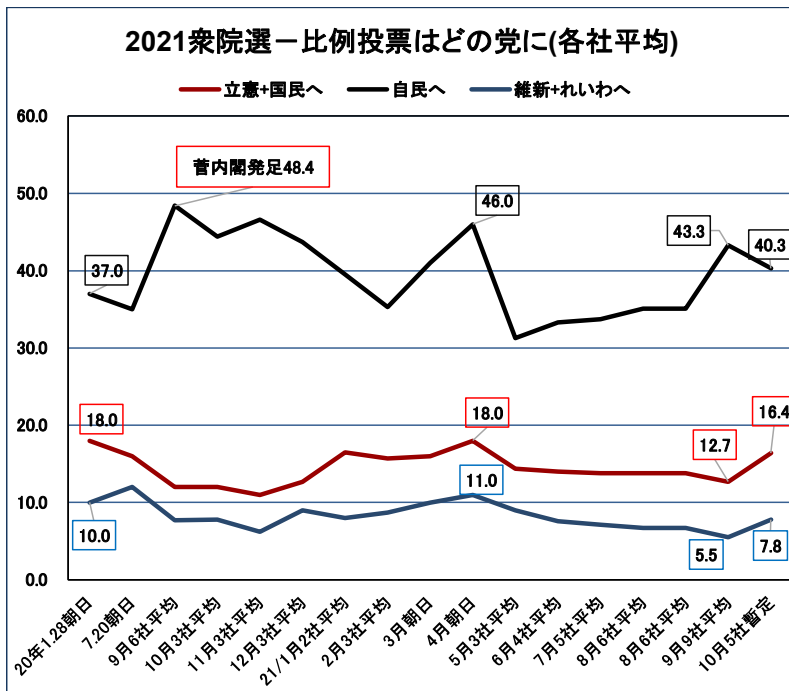
**第2次安倍政権以降の自公政権の評価**

	よかった	よくなかった
朝日9.14	49	40

**3. 間近に迫った衆院選－野党支持率は低調のままだが、「比例投票先」にはやや変化が！  
立憲と共産の「閣外協力」合意で波紋**

④当初、野党は菅内閣の低支持率を背景に、コロナ禍で疲弊する国民に向けて格差のない社会の実現などといった新自由主義政策の打破を目標に衆院選に望めば、安倍・菅路線の批判票の受け皿になれると考えていたのだろうが、菅内閣が後手後手のコロナ対応で支持率を下げている中でも、野党の政党支持率は低調のままだった。岸田新政権下でも野党の支持率は見たところ

政党支持率(9月)											
9月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	NHK	支持なし	
日経9.26	47	8	1	3	3		3	1			30
毎日9.18	37	10	1	4	4	1	5	2	1		34
読売9.6	36	7	0	3	3	0	2	0	0		43
朝日9.14	37	5	1	3	3	0	1	0	0		43
共同9.6	46.0	12.3	0.8	3.8	3.6	0.9	4.3	0.8	0.2		24.5
時事9.17	26.5	3.0	0.0	5.0	2.2	0.2	1.7	0.2	0.2		59.0
NHK9.13	37.6	5.5	0.2	3.6	2.9	0.6	1.1	0.4	0.2		40.2
JNN9.6	38.0	5.5	0.7	3.3	2.6	0.2	1.7	0.3	0.1		43.0
ANN9.20	49.4	9.9	1.2	4.2	4.1	0.3	3.1	0.4	0.0		26.7
平均	39.4	7.4	0.7	3.7	3.2	0.4	2.5	0.6	0.2		38.2
政党支持率(10月5社)											
10月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	NHK	支持なし	
日経10.6	51	8	1	4	5		3				27
毎日10.6	34	13	2	6	6	0	8	1	1		28
読売10.6	43	7	1	3	3	0	2	0	0		36
朝日10.6	37	5	0	3	3	0	2	0	0		40
共同10.6	50.8	11.6	1.4	4.7	2.5		5.0				17.6
平均	43.2	8.9	1.1	4.1	3.9	0.0	4.0	0.3	0.3		29.7



まだ 5 社平均だが、基本的な変化はないようだ。

その一方で自民党の支持率は、この間の党を挙げての総裁選挙という大イベントおかげで、支持離れしていた旧岩盤支持層を再吸収し、やや復調の様子が見られる。

しかし衆院選比例投票先については、(これもまだ 5 社平均だが)「自民党へ」が 43.3 %から 40.3%へとやや減少し、「立憲+国民へ」が 12.7%から 16.4%へと、やや上昇する気配が見られた。これまでの過去の選挙戦と同様に、選挙突入直前には「無党派層が野党に肩入れする」傾向が出てきたことだろう。

立憲の枝野代表は「街頭演説で手応えがある」と発言し、政権奪取の際には、消費税減税を含む 6 項目の共通政策について共産党と限定的な閣外協力を行うことで 9 月 30 日合意した。ただ、これが支持母体の連合から批判を受けているほか、加藤前官房長官は「共産党が破壊活動防止法に基づく調査対象団体である」と改めて指摘した上で、「立憲が閣外協力を実施した場合は、同法とは何ら関係がない」と発言するなど、波紋を呼んだ。いずれにせよ、今回の衆院選は、野党にとって予想以上に厳しい戦いが迫られることには違いがないだろう。

選挙日程は、10 月 4 日の岸田総理就任記者会見で 10 月 14 日に解散し、19 日公示・31 日投票開票と発表された。

#### 4. 国内をめぐる世論調査—コロナ対応、ワクチンなど

⑤前述のように、ワクチン接種率が国民の半分以上を超え、感染者数も減少傾向となったことから、新型コロナに対する政府対応の世論調査も 8 月と比べ、「評価する」と割合が増えている (8 月「評価する」26.2 %、「評価しない」64.0 %)。9 月「評価する」39.9 %、「評価しない」50.1 %)

こうした状況もあり、急に行動制限を緩和の動きが出始め、今月には実証実験が予定されており、道内では飲食店への第三者認証もスタートした。識者からは「見切り発車」と指摘する声もあるが、世論は行動緩和のタイミングが適切・妥当と回答する声が多くみられる。

#### 新型コロナ—政府の対応をどう評価

	評価する	評価しない
JNN9.6	37	54
読売9.6	35	58
日経9.26	51	43
朝日9.14	37	54
NHK9.13	43	53
毎日9.18	33	47
ANN9.20	41	43
FNN9.20	42.5	48.7
平均	39.9	50.1

そして、ワクチン接種によって出来る抗体効果も一定期間を経ると減少するということが製造メーカーの調査で明らかになったこともあり、わが国でも 3 度目の接種を進めることになった。これについて世論は、3 回目を接種したいと回答する割合が高い。ただ、現在のワクチン接種は法令に基づき実施されているため、希望者は無償で接種が可能だが、3 度目を含めて、

#### ワクチンパスポートの導入に

	賛成	反対
毎日9.18	62	27

#### ワクチン接種を義務づけることに

	賛成	反対
毎日9.18	43	46

#### ワクチン証明等で行動制限緩和する

	賛成	反対
ANN9.20	52	35
FNN9.20	58.8	35.7
平均	55.4	35.4

#### 11月頃から行動制限を緩める案に

	賛成	反対
朝日9.14	51	41

#### 行動制限緩和決定時期のタイミング

- NHK9.13 ①適切だ 18  
②早すぎる 37 ③遅すぎた 36

#### 政府の行動制限緩和の方針は

- 毎日9.18 ①妥当だ 49  
②緩和すべきでない 34  
③もっと早く緩和すべきだ 9

ワクチン接種の政府の取り組みは		
	順調だ	遅い
NHK9.13	29	63
FNN9.20	55.3	41.3
平均	42.2	52.2

ワクチン接種-11月末までに達成?		
	達成できる	できない
JNN9.6	22	74

ワクチン接種に不安は感じるか		
	不安を感じる	感じない
JNN9.6	57	43

ワクチンの接種は受けたか	
毎日9.18	①1回受けた 13
	②2回受けた 69 ③まだ受けていない 7
	④予約が取れない 3 ⑤迷っている 4
	⑥受けない5
ワクチン3回目の接種について	
FNN9.20	①3回目も受けたい 43.1
	②必要なら受ける 39.9
	③3回目は受けたくない 10.7
	④2回の接種も受けない 4.4

いつまでワクチン接種を続けなければならないのか。無償で受けられるのか否かという議論は聞こえてこない。

最も、ワクチン接種で言えば後進国（特にアフリカ）での接種率が低く、アフリカ（54カ国）で1回目の接種を終えた人の割合は5.2%、2回目の接種を終えた人は2.9%に過ぎない

という（朝日GLOBE・9/21）。こうした国々での接種が進まない限り、感染拡大は収まらないことは事実であり、わが国もこうした国々への支援のため、ワクチンの供給、購入資金援助などを実施しているが、感染拡大、重症化抑制などの意味ではワクチンは有効である以上、自国民の接種と接種後進国への両立が課題となると言えよう。

次期衆院選では自国の経済対策だけではなく、感染を抑え込むために、ワクチン接種後進国への対応をどうするのか。こうした視点についても政策論争してほしい。

次期衆院選では自国の経済対策だけではなく、感染を抑え込むために、ワクチン接種後進国への対応をどうするのか。こうした視点についても政策論争してほしい。

## 5. その他 …掲載できなかったその他の調査項目は以下の通り。

### 菅総理の退陣/不出馬表明

	評価する	評価しない
JNN9.6	68	22
	当然だ	そう思わない
共同9.6	56.7	35.3
読売9.6	47	39
	不出馬は妥当	そう思わない
日経9.11	72	22
毎日9.18	60	15
FNN9.20	78.9	15.8
平均	70.3	17.6

### コロナ感染拡大中での総裁選挙は

	容認できる	できない
共同9.6	53.5	43.3

### 衆議院選挙の時期は?

	任期満了で	任期越えても
JNN9.6	43	36

### 次の自民党総裁にふさわしいのは?

JNN9.6	①河野 22 ②石破 21 ③岸田 14 ④小泉 11 ⑤安倍 6
共同9.6	①河野 31.9 ②石破 26.6 ③岸田 18.8 ④野田 4.4 ⑤高市 4.0
読売9.6	①河野 23 ②石破 21 ③岸田 12 ④小泉 11 ⑤安倍 5
日経9.11	①河野 27 ②石破 17 ③岸田 14 ④小泉 10 ⑤高市 7
朝日9.14	①河野33* 自民支持層の42 ②石破16-*自13 ③岸田14-*自19
時事9.17	①河野31.6 ②岸田 14.3 ③高市 7.2 ④野田 0.9
ANN9.20	①河野 48 ②岸田 18 ③高市 10 ④野田 7
FNN9.20	①河野 52.6 ②岸田 15.2 ③高市 11.6 ④野田 6.54

### 東京パラは開催してよかったか

	よかった	よくなかった
JNN9.6	66	32
共同9.6	69.8	26.3
平均	67.9	29.2

### パラをきっかけに障害者との共生が

	深まると思う	思わない
共同9.6	67.1	29.3

### 五輪・パラで多様性への理解が進むか

	進む	進まない
NHK9.13	52	43

### 東京パラの学校連携プログラム

	評価する	評価しない
JNN9.6	68	22

### 総選挙では与野党議席増期待は

	与党議席増	野党議席増
ANN9.20	45	35

朝日9.14 ①与党が増に期待 19  
②野党が増に期待 36

③今と変わらないままが良い 36

NHK9.13 ①与党増に期待 22

②野党増に期待 26

③どちらともいえない 47

### 次の首相に望む(必要な)ことは

	説明能力	リーダーシップ
共同9.6	36.3	28.4

朝日9.14 ①発信力 10 ②誠実さ 15

③政治信条 7 ④実行力 64

### 次の首相に望む政策課題

※読売・ANN・FNN3社-略

### 自民党総裁選に期待する議論

NHK9.13 ①新型コロナ対策-他略

### 秋篠宮家眞子さまの結婚は

	祝福する	祝福しない
毎日9.18	38	35

### アフガニスタン情勢は危険だと思うか

	危険だ	そう思わない
NHK9.13	63	4

### 敵基地攻撃能力の保有

	賛成	反対
日経9.26	44	47

### 原発の再稼働について

	賛成	反対
日経9.26	44	46

### 感染して必要な治療受けることへ不安

	不安を感じる	感じない
朝日9.14	82	17

### コロナ感染して十分な治療受けられる

	感じている	感じない
ANN9.20	22	66

### コロナ感染に対する不安は

	不安を感じる	感じない
NHK9.13	84	13

### 緊急事態宣言は9.30で解除してよい

	解除でよい	延長すべき
ANN9.20	39	41

### 緊急事態宣言は12日で解除できるか

	できると思う	思わない
JNN9.6	8	89

### 19都道府県での宣言延長の効果は

	効果ある	効果ない
NHK9.13	47	49

FNN9.20	57.9	40.8
平均	52.5	44.9

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

(北海道世論調査会まとめ 担当:Takano)